

【大分県社会福祉士会】成年後見人材育成研修 カリキュラム

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践』（メインテキスト） ②『後見六法』 ③『専門職後見人と身上監護』
④『成年後見実務マニュアル』 ⑤参考資料集等

開催日	時間	課目	課目の目標	形態	使用テキスト					統一 レジュ メ	課題
					①	②	③	④	⑤		
9/6 (土)	9:30～10:00 (30)	0 研修ガイダンス	1 研修の目的を確認する 2 研修概要、スケジュール、事前課題とその取り扱い等を理解する 3 受講における留意点及び修了要件を理解し、受講姿勢を明確にする	講義						○	●
	10:00～12:00 (120)	1 成年後見制度の解説	1 成年後見制度が成立した背景及び制度の趣旨と理念を理解する。 2 法定後見制度と任意後見制度の概要を理解する。 3 成年後見制度の周辺にある制度を理解する。 4 弁護士や司法書士等の専門職との連携について理解する。	講義	○	○	○		○		●
	12:45～13:45 (60)	2 成年後見活動における 判断能力のとらえ方	1 成年後見制度における診断書、鑑定書について理解する。 2 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等を理解するため に必要な医学的知識を修得する。	講義	○	○					
	13:55～16:55 (180)	3 社会福祉士と成年後見 ～権利擁護の視点から	1 社会福祉士の専門性を活かした権利擁護の視点を理解する。 2 権利擁護の諸制度や成年後見制度の課題と最新動向を理解する。	講義	○	○	○		○		
9/7 (日)	9:30～11:30 (120)	4 財産法の基礎	成年後見制度活用のための財産法の基礎的知識を修得する。	講義	○	○					●
	12:30～14:00 (90)	5 財産管理のための 知識	1 成年後見制度活用のための財産管理の基本的事項を 理解する。 2 財産管理に必要な具体的方法に関する知識を修得する。	講義	○	○		○	○		
	14:10～15:10 (60)	6 後見事務の実際 1	具体的事例を通して、財産管理の方法を理解する	報告 解説	○	○		○			
	15:20～16:50 (90)	7 家庭裁判所の 実務の理解	1 家裁における後見担当部局の概要（裁判官、調査官、書記官 それぞれの役割）を理解する。 2 家裁における家事審判手続きについて理解する。 3 不正防止への取り組み（監督人の選任、後見支援信託）に ついて理解する。	講義	○	○			○		
11/29 (土)	9:00～11:00 (120)	8 家族法の基礎	1 成年後見制度活用に必要な親族法の基礎知識を修得する。 2 成年後見制度活用に必要な相続法の基礎知識を修得する。	講義	○	○					●
	11:10～12:30 (80) 13:20～14:30 (70)	9 身上保護（身上監護） のための知識	1 身上保護（身上監護）とされる項目を修得する。 2 成年後見制度活用上の留意点に配慮できるようになる。 3 権利侵害に対抗できる手続きを理解する。	講義	○	○	○	○	○		
	14:40～16:10 (90)	10 後見事務の実際2	具体的な活動事例を通して身上保護（身上監護）の方法を理解する	報告 解説	○	○	○	○	○		
11/30 (日)	9:30～11:30 (120)	11 演習1 ニーズの把握と対応	1 権利擁護ニーズについて理解する。 2 権利擁護に関わる制度の特徴と活用方法を理解する。	演習	○	○		○		●	●
	12:30～14:30 (120)	12 演習2 ネットワーク活用による 権利擁護（それぞれの 立場での権利擁護実践）	1 制度の限界を理解する 2 権利擁護について社会福祉士がとるべき態度について理解する。	演習	○	○		○		●	●
	14:40～15:40 (60)	13 今後の活動について	1 研修を振り返り、成年後見人に必要な知識・技術を共有する。 2 成年後見制度を活用するために必要な 知識の理解度を確認 するため、修了試験を行う。	講義	○	○			○		●